

緊急
速報

果樹を守るために まずやっておきたいこと

初版2019年11月8日発行

発行者：日本笑顔プロジェクト本部 代表 林映寿

〒381-0211 長野県上高井郡小布施町雁田676浄光寺内

電話：026-247-3924 eメール：yakushi@jyokoji.jp

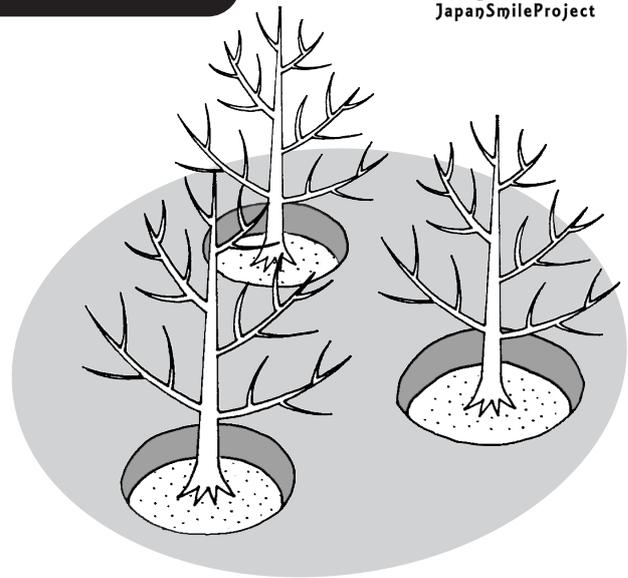
制作：燕游舎

笑顔
JapanSmileProject



台風19号に伴う千曲川の越水・決壊・氾濫で、沿岸では果樹畑が大きな被害を受けました。現在、長野県や各市町村では被害状況の調査と支援体制づくりが進んでいます。これに先立って、まずやっておきたいことがあります。緊急に必要なのが、

市町村への連絡・相談、そして果樹を覆う泥土の除去です！



果樹の根・幹の周りの泥土を除去して
呼吸を助けよう！

1. 市町村窓口への連絡・相談

台風19号に伴う水害については、災害復旧事業(国庫補助)をはじめとする公的支援の対象となる場合があります。果樹畑での復旧作業を始める前に、各市町村窓口へ連絡・相談をしましょう。〈5. 公的支援・補助・各種相談窓口〉をご参照ください。必要資料は次のとおりです。

- ①施設等の被害状況の写真、作業を行った日付、作業者、費用の記録
- ②作業の発注書、納品書、見積書、請求書、領収書などの書類

2. 泥土を除去して酸欠を防ぐ！

1) 酸欠で根が枯れてしまう！

水害で運ばれた泥は、水分を多く含んだ粒子の細かい土です。果樹を植えた土がこの泥土で覆われてしまうと、土の中の酸素がどんどん少なくなっていきます。すると果樹の根が酸欠状態となり、枯れてしまう恐れがあります。

- ①果樹の健全な生育
- ②冬越しの準備
- ③翌年度の収穫 のためには、早急な泥土の除去が欠かせません。

2) 厚さ 5cm を超える泥は早急に除去を！

厚さ 5cm 以上の泥が堆積している場合は、一刻も早く、根の周りの泥を除去する必要があります。泥の堆積が少ない場合は、浅く耕し、土壌の呼吸作用を助けましょう。深く耕しすぎて根を傷つけないよう注意して。

3. 優先順位は？

1) モモ・サクランボ

モモやサクランボは、耐湿性が低く、根が障害を受けやすいので、真っ先に救助が必要です。

2) リンゴの苗木・若木・わい化樹

リンゴのなかでも、土中の比較的浅いところに根を張っている苗木や若木、わい化樹を優先的に。

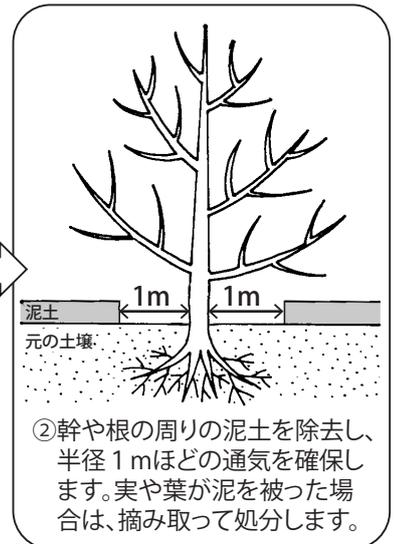
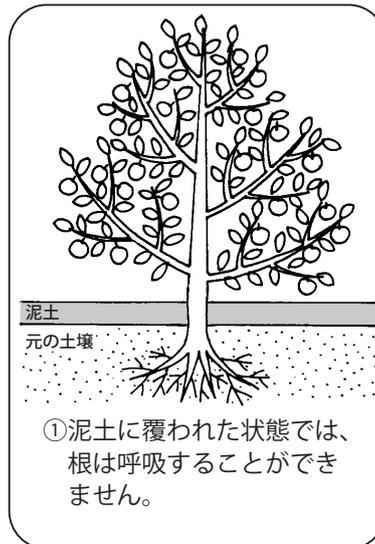
3) リンゴの普通栽培樹

モモ類やリンゴの若木を優先したうえで、なるべく早く泥の除去を。

4. 泥土の除去はどこまでやればいい？

1) 根の周りの泥土を除去

泥土に隙間なく覆われていると、根が酸素を補給できません。根を覆った泥土はできるだけ除去します。根や幹の際は、果樹を傷めないよう、スコップなどで慎重に。その他の部分はバックホーなどの重機も活用しましょう。地域内で泥土の集積所が設置されるまでは、除去した泥土を畑内に仮置きしておきます。

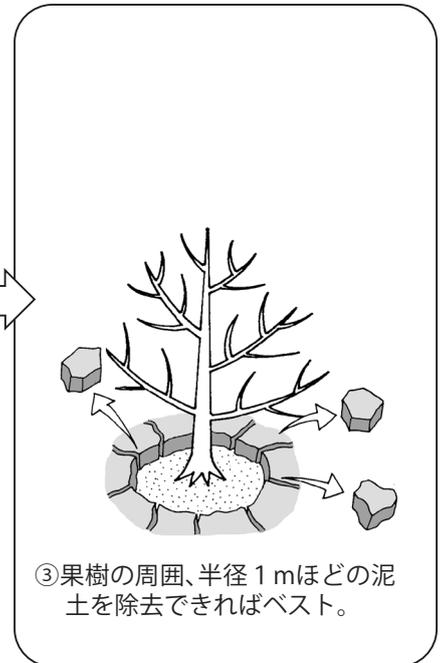
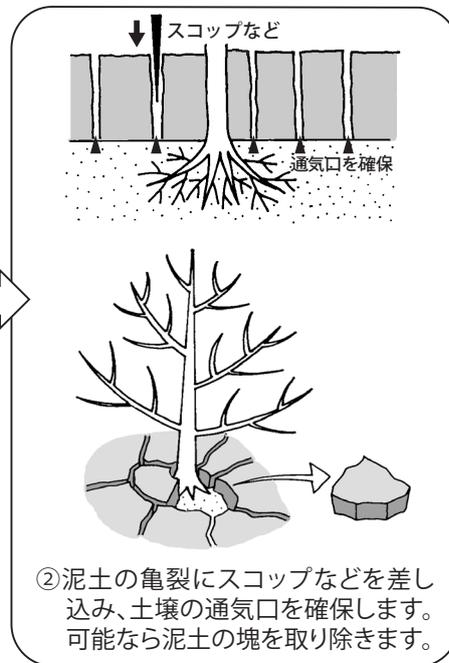
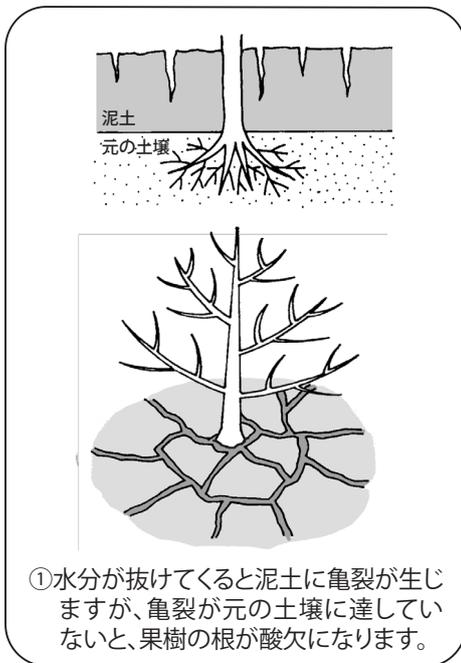


2) 目安は半径1m

果樹の周り、半径1mほどを目標に、泥土を除去します。苗木や若木は半径50cmほど。

3) 泥土を割って通気を確保

泥土の除去に時間を要する場合は、根の周りの泥土を割って、空気の通り道を確保しましょう。堆積した泥土が乾いて亀裂が生じてきたら、これを利用して割れ目を増やしていきます。



4) 排水路を作る

果樹回りのみ泥土を除去した場合、降雨時に雨水が溜まらないよう、排水路を作ります。

5. 公的支援・補助・各種相談窓口

●小布施町民は……小布施町産業振興課農業振興係 電話：026-214-9104(代)

●長野市民は……長野市農業政策課生産振興担当 電話：026-224-7274

農地被害についての 技術・経営・資金制度活用	長野農業改良普及センター	電話：026-234-9534
	長野県農政部農業技術課	電話：026-235-7223
農業共済加入者の補償	長野県農業共済組合 北信地域センター	電話：026-219-2890
災害被害者の経営再建資金	日本政策金融公庫長野支店 農林水産事業	電話：026-233-2152
	長野県信用農業協同組合連合会	電話：026-236-2080